

登山月報



カンチェンジュンガ北東支稜



Aifo / JMSCA



8月11日 みんなで山を考えよう!
祝「山の日」
 全国「山の日」協議会
 山に親しむ機会を得て 山の恩恵に感謝する

No.609

I F S Cリードワールドカップ印西2019	2
第22回JOCジュニアオリンピックカップ南砺2019 報告	4
第133回 Mountain World	6
新連載 『日山協と私』	7
令和元年度登攀技術研修会	8
第58回全日本登山大会(岐阜大会) 報告	10
2019 U A A A 総会報告	11
JMSCA、寄贈図書、表紙のことば、編集後記	12

IFSCリードワールドカップ印西2019

印西市でのワールドカップの開催は5年ぶり。開催決定後、ゴルフの最高峰ツアーPGAと日程が重なることが判明。宿泊やバスの確保に難航した。そして開催直前、台風21号の影響で千葉県に多くの水災害が起こり、会場近くの河川“亀成川”に洪水警報4が発令される。選手、スタッフの移動に影響がでた。レジストでは、スタッフが会場（成田）に3時間かかっていたの移動。来られないチームもありレジストはメールでの対応も可とした。中国チームは、成田空港に着陸できず関西空港に降りレンタカーによる徹夜の移動で印西に入った。大会当日は、回復し何とか開催こぎつけることができた。（詳細は、サービスマネージャー平野コメント参照）

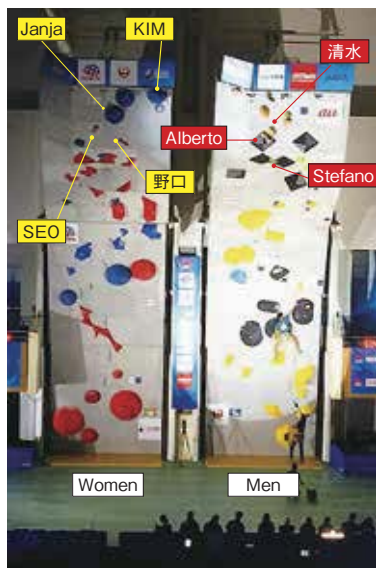
会場 印西市松山下公園総合体育館

日程 2019年10月26日（土）～27日（日）

今回のワールドカップ（第6戦）は、2019年の締めくくりでリードの総合優勝はもちろん、コンバインドの総合、国別ランキングも決まる注目度の高い大会。ただ、リードの総合1位が決まっているAdam ONNDORAや東京オリンピック選考大会の調整のためか欠場する選手もみられた。エントリーは、25ヶ国と地域から女子52名男子54名と少なめとなった。

予選女子では、KIM Jain（KOR）、Janja GARNBRET（SLO）、野口啓代（JPN）、Lucka RAKOVEC（SLO）、森秋彩（JPN）の5名が両ルート完登。男子は有力選手がてこずっているところ Fedir SAMOILOV（UKR）が両ルートを完登する。

準決勝は、男女ともに波乱が起きる。森秋彩が指定ホールド（ブルークロス）からのクリップ忘れ、伊藤ふたばがスリップでまさかの準決勝敗退。そして男子では、原田海が取り付きでスリップ。藤井快と是永敬一郎が下部のラウンジ系ムーブで失敗。予選両ルート完登の Fedir もここでフォールし敗退。



結果、日本人で決勝への進出は女子で野口、田嶋、野中、谷井の4人、男子で清水、波田、檜崎の3人となる。

決勝は、野口が5番目に登場し、上部



でクリップに手間取る様子が見られたが36+まで伸ばしトップに躍り出る。続いて今年のリード総合

チャンピオンが決まっている SEO Chaehyun（KOR）が登場。野口がつかめなかったピンチを保持し37+で野口を抜く。そして、圧巻だったのがその次に登場した KIM Jain（KOR）。野口、SEOが戸惑っていたところを難なくクリアし完登。1位を確実にする。最後は Janja GARNBRET（SLO）。上部の核心を難なく突破するが、TOP手前のボリュームが連続する高度39でフォール。KIMの優勝が決まる。これでリードW杯の優勝は29回目。

Rank	NAME	Nation	Final	1/2Final	1. Q	2. Q
1	KIM Jain	KOR	Top	33+	Top	Top
2	Janja GARNBRET	SLO	39	41	Top	Top
3	SEO Chaehyun	KOR	37+	33+	35+	35+
4	野口 啓代	JPN	36+	30	Top	Top
5	野中 生萌	JPN	34+	28+	35+	Top
6	谷井 菜月	JPN	34+	28+	Top	35
7	Laura ROGORA	ITA	20	28+	Top	36
8	田嶋あいか	JPN	19+	29	30+	35

Rank	NAME	Nation	Final	1/2Final	1. Q	2. Q
1	清水 裕登	JPN	38+	32+	38+	38+
2	Alberto GINES LOPEZ	ESP	36+	Top	34+	Top
3	Stefano GHISOLFI	ITA	32+	32+	38+	Top
4	波田 悠貴	JPN	28+	31+	38+	Top
5	Jesse GRUPPER	USA	28+	30+	31+	17+
6	Sean MCCOLL	CAN	27+	34	38+	2+
7	Loic TIMMERMANS	BEL	22+	30+	30+	33+
8	Sean BAILEY	USA	19+	34	35+	31+
9	檜崎 明智	JPN	19+	30+	31+	17+

一方男子は、かなり厳しいルートで完登はなかった。上部で傾斜が強くなったところの小さいホールドが連続する部分が核心。次のホールドにどのように繋がっていくか、いかにもリードっぽいムーブ。ここを5番目に登場した清水裕登が38+まで伸ばす。その後に登場する Sean MCCOLL（CAN）、Alberto GINES LOPEZ（ESP）などは、そのデッド気味のムーブが連続するところで力尽きフォール。清水のW杯初優勝が決まる。

そして、今シーズンリードの国別ランキングで1位を獲得。



リードとしては久しぶりで最後の頑張りが栄光を勝ち取った。また、複合（各種目の総合成績）で檜崎智



垂が2年ぶりに1位に返り咲いた。

【運営】

＊選手 男子54名、女子52名(25国と地域)
 アメリカ、イギリス、イスラエル、イタリア、インドネシア、ウクライナ、オーストラリア、オーストリア、カナダ、韓国、ス

エーデン、スペイン、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、ドイツ、日本、ノルウェー、フランス、ベルギー、ポーランド、香港、ロシア

＊観戦 席数800(1階700、2階200)

- ・26日 527 チケット337(当日87)
- ・27日 766 チケット528(当日144)
- 計 1293 チケット865(当日231) ＊内2日券98

＊メディア

- ・26日28 ・27日41
- スチール18 ペン16 TV6(NonRights)

＊会場レイアウト



＊会場イメージ(27日決勝前)



＊グラフィック

会場のブランディングとして、IFのガイドラインに沿った要求が強くなってきている。今大会も同様、グラフィックチャターなどはアブルーバルに時間がかかり期限ぎりぎりとなった。来年は、さらに厳しく装備などもガイドラインに沿ってIFスポンサーの使用が求められる。また、今回、会場の演出や照度が中継(画面の輝度)



に問題ないよう要求され、現場での確認、修正に手間取った。

これらを含め、来シーズンは今以上にOHBを守って大会を運営することが望まれる。ただ、できる国は少ないか。

去年の11月アジア選手権を鳥取倉吉で行い、12

月高校選抜、年明1月BJC、2月SJC、3月LJC、ユースリード、5月ユースボルダ、CJC、8月WCH、9月JOCそして10月今回のLWCと1年間で11大会を開催してきました。

多くの問題がありますが、よくここまでたどり着けたかと感じます。これも多くの関わった方、開催地、行政、スポンサー、サプライヤー、各業者、スタッフ、ボランティアの協力があって実現できたこと。感謝申し上げます。

(実行委員長 村岡正己)

＊サービスマネージャーコメント＊

令和元年10月26、27日の両日にわたり、千葉県印西市で2019IFSCワールドカップシリーズ戦最終戦となり、そのフィナーレを飾ってリード種目とコンバインド種目の年間総合成績の表彰も行われた。

大会はまず前日25日午後のConfirmation of attendance(出場選手確認)及びTechnical Meeting(テクニカルミーティング)からスタートするはずであった。しかし25日昼前から激しさを増した雨は、後に「千葉県豪雨」と呼ばれる未曾有の大雨を県内にもたらし、死者12名、行方不明者1名を数えるに至った。県内に多大な被害をもたらしたこの天災は、本大会関係者も翻弄したのであった。

競技会が行われる松山下公園総合体育館と、テクニカルミーティングが行われる成田市のマロウドインターナショナルホテル成田は車で通常1時間の距離にある。交通渋滞が予想された為、大会スタッフは3台の車に分かれ、第一陣は3時間以上前に競技会場を出発した。ところが多くの河川が氾濫した佐倉市や印旛沼周辺に至るまでも無く、既に印西市内で多数箇所をわたり道路冠水が起り、我々の車は行く先々で行く手を阻まれた。ワイパーがまるで役に立たない雨の中、「絶対途中で止まるなよ!! 突っ込めー!」の合図のもと、タイヤの真ん中ほどの水深をまるでアクション映画の如く水しぶきをあげて突破する。しかしその先には通行止めと、それを迂回する多くの車の渋滞という関門が数多く



立ちはだかっていたのだった。

それぞれの車がスマホで連絡を取り合う。「渋滞が酷いです。1分間に10cmしか進み

ません」「こちらは通行止めでUターンしました」「ホテルまで200mまで来ましたが、土砂崩れで通れません」。刻々と時間が迫る中、Technical DelegateのVincent Causse氏は冷静に車の中で各国選手団に連絡を取り、SNSでの選手登録確認を行う。ホテルに事前に英語が堪能な大会ボランティアスタッフが到着していた事も幸いした。IF Officials、大会マネージャー、当該ボランティア連携のもと、既に会場に到着していた選手団とも連絡が取れ、時間までに無事に出場選手確認が行われたのであった。

そして結局1台の車は現場にたどり着けなかったものの、IF Officialsを含めた車2台はテクニカルミーティング終了予定時刻直前に会場に到着し、ミーティングを行う事ができたのだった。しかし電車の不通等により、5カ国の選手団がミーティングに参加できなかった事は致し方なかったであろう。特に中国チームは、飛行機が豪雨で成田空港に到着できず、関空着陸となり、大

阪から夜通しレンタカーと電車を乗り継いで翌日の予選競技時間ギリギリに会場に到着することが出来たのだった。選手にはさぞかし過酷なコンディションだったと推察するが、競技に全力を尽くせたと望まずにはられない。

また、今回の大会では10月24日(木)から同じ週末を挟む4日間で、日本初開催となるゴルフイベント、PGA ツアートーナメント大会が同市内の近隣で開催された。タイガー・ウッズの優勝、松山英樹準優勝で盛り上がったこの大会は、ギャラリーは一日2万人と予想され、駅からは80台のシャトルバス輸送が計画されたが、初日はそれでも乗り切れない観客が列をなして会場まで歩く光景が繰り返された。これを見たクライミング大会関係者は、この10分の1の観客でも集まればとか、駅から間違っただけでクライミング会場に来る観客が来ればいいのかと呟いたとかいらないとか。

とにかく事前にこの情報を入手していた実行委員会では、行政との綿密な情報交換と、作戦会議により、選手・観客の輸送計画を立てたのであった。特に印西市には、様々なシュミレーションの中、細かい対応をしていただき感謝に堪えない。

結果的には25日の大雨の影響で、25日のゴルフイベントは中止、26日は芝のコンディションを考慮して無観客試合となり、クライミング大会への混乱が避けられたのは幸いであった。

そして、今回これだけのトラブルにもかかわらず、スケジュール通りに大会運営ができたのは、室内競技会場であった事及び多くの大会に関係したスタッフの尽力の賜物であったと改めて感謝申し上げる次第である。

(記 平野直子)

第22回JOCジュニアオリンピックカップ南砺2019 報告

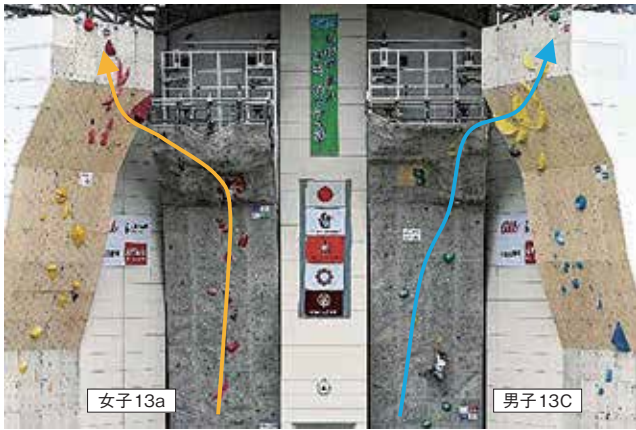
期日 2019年9月14日(土)～16日(月)
会場 富山県南砺市桜が池クライミングセンター
参加 204人(男子111人、女子93人)ジュニア男子9人、女子11人
 ユースA男子34人、女子22人
 ユースB男子33人、女子34人
 ユースC男子35人、女子26人

メディア 9/14▶4社 9/15▶2社 9/16▶3社
 今年は、クライミング世界選手権が8月に開催されJOCは9月に変更となった。9月は少しは涼しいかと想定していたが、夏の終わりの不安定さか、気温、天気が大きく変わり選手のパフォーマンスに影響していた。2日目予選女子Aルートでは、黒いホールドが太陽光の熱射により温度が上昇、選手が軽い熱傷を受けた。競技中



断し温度低下後再開(11:45)、テクニカルインシデントとして対応した。去年は、サーモグラフィーで確認したが今年は9月であるため用意しなかった。

そのような状況下、男子決勝はユースAにLWCブリアンソン1位の西田秀聖、初めての世界ユースで1位



(ボルダリング)となった百合草碧皇が進出。ジュニアでは、海外の大会を含め経験の多い今泉結太が進出し三つ巴の戦いとなった。稼働壁から固定壁に移ったところの40+で西田が落ち、百合草はそこからさらに数手伸ばし44を獲得。最終出番の今泉も西田と同じ39+で落ちる。決勝は、ルートセット時と比較し雨が降るなど湿度が高くなり条件が厳しくなったが、ハリボテをうまく保持した百合草が総合優勝を勝ち取った。

一方、女子は森、伊藤のトップクラスが他の大会に出場していたため不参加。混戦となるか、誰が優勝を勝ちとるかといった幕開けとなった。決勝ではルートの特徴か、タイムアウトする選手が数人だったが、やはりスピーディーに登る選手が上位に入ってきている。ユースBで美谷島ももかが、44+でトップに迫る。ユースAになると昨年のアジア選手権倉吉リードで5位に入賞した栗田湖有が、ゴールタッチとなる46+をマークし総合優勝を果たした。

JOCは、第1回を1999年3月埼玉県川の川口にあるジム、第2回は、2000年3月神奈川県秦野市、第3回は、2000年



12月埼玉県加須市にて開催。そして、2001年の第4回以降は富山県南砺市(旧城端町)で行ってきた。今年で、JOCジュニアオリンピックは一つの目処を迎える。

富山県山岳連盟をはじめ関係した皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

(実行委員長 村岡正己)



ユースC男子						
順位	姓名	都道府県	ナンバー	高度記録	前ラウンド	タイム
1	通谷 律	佐賀県山岳・スポーツライミング連盟	MC04	TOP	1	—
2	安楽 宙斗	千葉県山岳連盟	MC19	TOP	2	—
3	内木 智	大阪府山岳連盟	MC07	TOP	3	—

ユースB男子						
順位	姓名	都道府県	ナンバー	高度記録	前ラウンド	タイム
1	吉田 智音	奈良県立青翔中学校	MB03	39+	1	—
2	村下 善乙	千葉県山岳連盟	MB25	39+	2	—
3	三根生 仁慈	大阪府山岳連盟	MB22	31+	6	—

ユースA男子						
順位	姓名	都道府県	ナンバー	高度記録	前ラウンド	タイム
1	百合草碧皇	専修大学付属高等学校	MA30	44	1	—
2	西田 秀聖	天理高等学校	MA26	40+	2	—
3	前田健太郎	滋賀県山岳連盟	MA07	39+	8	—

ジュニア男子						
順位	姓名	都道府県	ナンバー	高度記録	前ラウンド	タイム
1	今泉 結太	茨城県山岳連盟	MJ02	39+	1	—
2	山口 龍磨	東京都山岳連盟	MJ06	34+	2	3.16
3	鶴本 直生	佐賀県山岳・スポーツライミング連盟	MJ09	34+	2	3.5

ユースC女子						
順位	姓名	都道府県	ナンバー	高度記録	前ラウンド	タイム
1	菊川 花恋	大阪府山岳連盟	WC08	TOP	1	—
2	抜井 美緒	奈良県山岳連盟	WC21	TOP	4	—
3	小田 穂香	大阪府山岳連盟	WC13	44	2	—

ユースB女子						
順位	姓名	都道府県	ナンバー	高度記録	前ラウンド	タイム
1	美谷島ももか	東京都山岳連盟	WB31	44+	4	—
2	柏 綾音	三重県山岳・スポーツライミング連盟	WB30	40+	5	—
3	石井 秀佳	東京都山岳連盟	WBO8	35	3	—

ユースA女子						
順位	姓名	都道府県	ナンバー	高度記録	前ラウンド	タイム
1	栗田 湖有	新潟県山岳協会	WA03	46+	1	—
2	柿崎 未羽	東京都山岳連盟	WA21	41	1	—
3	久米乃ノ華	千葉県山岳連盟	WA15	39+	1	—

ジュニア女子						
順位	姓名	都道府県	ナンバー	高度記録	前ラウンド	タイム
1	小島 果琳	岐阜県山岳連盟	WJ01	39+	2	—
2	西田 朱李	千葉県山岳連盟	WJ07	37	1	—
3	黒岡 水夢	大阪府山岳連盟	WJ08	35+	4	—



第133回 Mountain World

エヴェレストはネパール側 それともチベット側？

池田常道

中国チベット登山協会（C T M A）が、2020年春から2022年末まで有効とするチベット高峰の登山料改定案を発表、エヴェレスト（チョモランマ）は\$9,950から\$15,800へと58%値上げすることとなった。

登山料（1名あたり）は来春から以下のように変わる。（ ）内は今回の値上げ率。

- ・エヴェレスト \$9,950 → \$15,800 (58%)
ネパール人スタッフは\$3,600 → \$4,500
- ・チョー・オユー \$7,400 → \$9,300 (25%)
ネパール人スタッフは\$3,300 → \$4,000
- ・シシャパンマ（北面通常ルート）
\$7,150 → \$9,300 (30%)
- ・同（南壁）\$7,650 → \$9,400 (22%)
ネパール人スタッフはチョー・オユーと同じ

エヴェレストの登山料\$9,500は、ゴミ処理費のデポジット分\$1,500を加えると\$11,000で、これまでネパール側の\$11,000と同額になっていた。

チベット側から登るエヴェレストは、アイスフォールの危険がなく、ルートそのものも長い分傾斜が緩い上に、唯一の難関であるセカンド・ステップにはアルミ梯子が設置されるなど、ネパール側に比べれば「容易な」部類に属する。

2008年から18年の11年間でみると、南北両ルートからの登頂成功率は、南面では6847人が頂上を攻撃して3865人が成功（56%）、北面では2733人に対して成功したのは1652人（60%）と差がない。登頂成功と遭難死の比率では、南面が登頂3865人に対して遭難死65人（1.6%）だが、北面は登頂1652人に対して遭難死13人（0.7%）となっている。

もちろん、登山料の額だけが山を選ぶ際のファクターではないから、ネパール側もチベット側も、それぞれの魅力によって選ばれることは当然だが、ネパール人スタッフの登山料も80%高騰するため、これまで割安感のあったチベット側の優位を帳消しにしてしまうかもしれない。

これらコストアップが、各公募隊の募集料金にどこ

まで反映されるのかも注目される。エヴェレストはともかく、8000m峰入門として人気のあるチョー・オユーやシシャパンマは、同格のマナスルとの価格競争を免れ得ない。つい先日、8000m峰14座登頂を6カ月余りで成し遂げたニルマル・プルジャは、ネパール側からチョー・オユーに登れるルートの必要性を訴えているのだが……。

*

そのニルマル・プルジャ（11月号本欄参照）は、壮挙達成直後の11月12日、アマ・ダブラム（6812m）のクウェート隊をガイドして、再び新聞の大見出しを飾った。この隊は登頂後、直前に迫っていた同国の建国記念日を前に、頂稜から縦30m×横100mという巨大国旗を垂らし、その模様をヘリで空撮して動画を公開してみせた。

山名の由来となった氷雪のヘッドウォール（母「アマ」の首飾り「ダブラム」）に垂らされたこの巨大国旗は、10km離れた山麓のクムジュンからもよく見える大きさだった。ヒマラヤでは、頂上で誇らしげに国旗を掲げたり、所属クラブの旗を手に記念撮影したりすることはよく行なわれている行為だが、これほど大きなモノが恥ずかしげもなく、堂々と掲げられた例は見たことがない。ましてクウェート国旗は、ネパール人にとって異教徒の旗なのだ。この作業に従事したのは、プルジャ旗下のシェルパ6人で、国旗とその固定器具計150kgを分担して運び上げて設置、空撮終了後に回収したという。

プルジャは、この国旗設置と空撮に当たって、クウェート隊から\$8890を受け取ってネパール当局の許可取得を託されていたという。しかし、11月27日に明らかになったところでは、彼が許可を申請したことはなく、当然ながら許可料も払われていない。



アマ・ダブラムの頂稜から垂らされた30m×100mの巨大国旗 ニルマル・プルジャが公開したビデオから



新連載 ～創立60周年に向けて～ (19)

『日山協と私』

滋賀県山岳連盟 國松 嘉仲

日本山岳協会(日山協)が、創設(昭和35年4月)され間もなく60年を迎える。

愚生は、日山協が創設される2年前、18歳の時、初めて県内の比良山地にある武奈ヶ岳(1,214m)に登った。

それがきっかけで、山に魅せられ山と共に人生を歩み61年が経ち、齢79歳になったが、未だ耳順たり得ず勝手気ままな独居生活を送っている。

顧みると、登山を始めて5年後の昭和38年に、滋賀県山岳連盟(滋賀岳連)会員になり、昭和52年に理事長と日山協理事になった。

この年、滋賀県は国体開催4年前で、しかも、山岳競技が公開競技から正式競技に移行する過渡期にあり、国体山岳競技が、どのような種目で、何を競うのか、日山協傘下の都道府県山岳連盟(協会)の皆さんは、ほとんど知らなかったし、日山協も「もしも正式競技になったら…」という手引きを発行し、正式競技になる山岳競技を具体化する最中であつた。

翌、昭和53年の長野国体で、日山協は、縦走、踏査、登攀の3種目を正式競技種目として試行した。

果たして、参加した選手・監督はもちろん、運営する競技役員も初めての経験であり、大会初日から不公正な審判や、計量時のトラブル、棄権するチームの続出など、收拾がつかないくらい大荒れになった。

また、選手・監督などから「二度と国体には出たくない。」という声も出て、競技化への前途多難を浮き彫りにし、昭和55年に正式競技となる栃木国体への不安をかきたてた。

「栃木の次は滋賀」という重圧を感じながら、事の重大さを目の当たりにした愚生は、長野国体で試行され



登攀競技管理棟 後に、比良山岳センター(昭和56年)

た山岳競技の課題や問題を掘り起こし、差し迫った栃木国体にどう対応すべきか、理事として、また国体常任委員会の委員として、長野や栃木に頻繁に出向き対策を練り、結果を日山協に持ち帰り協議検討を重ねた。

そして、やってきた昭和56年の滋賀国体では、競技の審判に主観が入らないよう実施基準や施設基準、競技用具用具等を抜本的に見直すとともに、観客のいない山中での競技の速報や踏査競技の実況など、随所に「滋賀方式」を採り入れた。

一方、登攀競技会場近くに「登攀競技管理棟」(恒久施設)を建設し、選手・監督、役員負担の軽減を図った。

その施設は「県立比良山岳センター」^(※1)として、文部省登山研修所、長野県山岳総合センター、神戸登山研修所に次ぐ登山研修施設として、安全登山の普及啓発の拠点となった。

組織力も、自主財源もない貧弱な滋賀岳連が、大会役員等700名余^(※2)を組織し、正式競技移行2年目の滋賀国体山岳競技を無事乗り越えられたのは、「人の不足には知恵を、モノの不足は県や実行委員会に、カネの不足は熱意と奉仕で」を合言葉に取り組み、県をはじめ地元実行委員会の皆さんの支えによって成し得たものである。

愚生もまた、「人は人に出会って人になる」と言われるように、長野山協や栃木岳連、日山協の皆さんとの出会いによって、多くのことを学び、その後の生き方のバックボーンとなった。

あれから40年――。

日山協は、平成29年4月、国際スポーツライミング連盟(IFSC)の要請を受け「日本山岳・スポーツライミング協会」と名称変更し、平成25年に「公益社団法人」になった時の定款の目的も、「安全登山を第一に、山の環境と文化に配慮した、登山および山岳スポーツの普及振興」から「安全を第一に山の環境と文



びわこ国体(昭和56年)

化に配慮した登山、スポーツクライミングおよび山岳スポーツの普及振興」に改めた。

しかも、スポーツクライミングが、2020東京オリンピックの開催種目となったことにより、役員選考規程等を次々に改定し、全国9ブロックの代表理事は廃止され、これまで15名いた業務執行理事も半減(8名)し、理事も予算^(※3)もスポーツクライミングにシフトしてしまった。

そして、すでに国体には「山岳競技」は存在せず、令和元年の第74回茨城国体から「スポーツクライミング」になり、これまで、国体山岳競技を通して「安全登山を第一に山の環境と文化に配慮した登山の普及振興」に寄与できたのは遠い昔の話になった。

過去を忘れるものは再びこれを繰り返すと言われるが、日山協が昭和35年に設立される以前、日本の登山界を統括していたのは、日本山岳会(JAC)である。

そのJACに反旗を翻し、昭和29年7月に結成されたのが全日本山岳連盟(全岳連)である。

両者の確執は数年続き、昭和34年6月、日体協の仲介でJACと全岳連が共同して設立したのが「日本山岳協会」である。^(※4)

日山協が創設されてやがて60年――。

JACは、平成25年に日山協が公益法人になった時、脱退した。

翻って、現今の日山協を見るに、ここ両三年に起きている登山とスポーツクライミングの事業規模のアンバランスが、かつて、JACと全日本山岳連盟の間で起きた「確執」を繰り返すように思えてならない。そのような愚生の思いが「杞憂」であることを願っている。

- ※1：現在は、大津市に移管され宿泊施設になっているが、登山研修によく利用されている。
- ※2：競技役員170名、競技会係員400名、自衛隊125名、補助員34名
- ※3：平成30年度収支決算では、収入約5億2千万円のうち、支出は約5億円で、支出の約8割がスポーツクライミング関連であると言われる。
- ※4：「日山協50年誌」(平成23年1月15日)の「日本山岳会と日山協」松田雄一氏の項参照



創立60周年募金のお願い

創立60周年記念事業募金のご協力をお願いします。6,000円以上の募金の場合、税額控除証明書を発行いたします。

みずほ銀行 渋谷支店 普通口座 3382501
口座名：(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会
郵便振替 口座記号番号 00110-5-546693
加入者名：(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会

令和元年度登攀技術研修会

令和元年10月26日(土)～27日(日)に大阪府山岳連盟主管で神戸セミナーハウスを宿泊所とし六甲、百丈の岩場において登攀技術研修会およびA級・B級主任検定員養成講習会、コーチ2養成講習会が開催された。

今回は研修6名、A級主任検定3名、B級主任検定3名、コーチ2養成講習5名、講師4名、大阪府スタッフ5名の計26名での開催となった。開催場所の百丈の岩場には鉄骨でやぐらが組まれていて制動確保、自己脱出の講習に整った施設が設置されていました。また、スタッフの大阪府山岳連盟の方々には、多大なご協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。

以下に参加者の代表の感想を掲載いたします。

記：指導委員会 野村

登攀技術研修会感想文

松本 正和(広島県)

この度、今年2月に鳥取県大山で開催された氷雪技術研修会に続き、登攀技術研修会に参加させていただきました。日山協(JMSCA)の研修会に参加しようと考えた理由は、現在における最先端のスタンダードな登攀技術や氷雪技術を身につけたいと考えたからです。結論から言うと、全国規模の研修だからと身構えず、もっと早くに参加しておけば良かったと思うほど大満足でした。また、同様に意欲を持って研修に参加された方々と触れ合うことで、良い刺激にもなりました。今回の登攀技術研修の内容で言えば、セルフレスキューとして、主に「制動確保」、「自己脱出」及び「登高」を指導していただきました。

講師による厳しいながらも情熱のこもった指導により、まだまだ未熟な技術ですが、それぞれの項目において受講前と比べると上達(矯正)したと実感することが



できました。

更に、ビレイデバイスの操作方法など、地元に戻ってからも実施可能な練習方法も教えていただきました。

2日間と研修自体は大変短い期間でしたが、今回指導していただいたことを定期的に復習したり継続的に練習したりすることで技術の向上に努め、今後の自分の長い山人生に活かしていきたいと考えます。

最後に、研修会で大変お世話になりました講師の皆様及び大阪府山岳連盟のスタッフの皆様に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

コーチ2養成講習会に参加して

鈴木 真琴 (東京都)

週末の度に台風が悩まされたこの秋。この週末も台風は発生していたが、特に影響なく、無事に両日とも外岩での開催ができたことをまずは喜びたい。

さて今回、開催が兵庫県でと聞いたときは驚いた。しかし、西日本の伝統あるクライミングゲレンデであるということを知り、東京からなかなか行く機会のないこの地に、今回縁あって行けたのは、幸運に思う。大阪中心地から1時間もかからない地、駅からも歩いて行ける距離にこのようなゲレンデがあるのは、たいへんうらやましいことだ。さて、コーチ2養成講習の内容は主に3つ、登攀訓練および支点構築、制動確保訓練、そしてビレイ体制からの自己脱出訓練であった。登攀訓練にあたっては、前日の雨により岩が濡れており少々足場が悪い環境下であったものの、参加者はみなそつなくクリア。そして、制動確保訓練は、大阪府山岳連盟が管理する訓練専用施設で実施するという貴重な経験をさせていただいた。一切の摩擦抵抗のない状態で70kgの制動確保をする。その衝撃を体験するのは初めてであった。ロープを流しぎみにするんだぞ、という気持ちで待ち構えて臨んでも、いざ衝撃を感じると反射的に握ってしまう。しかし衝撃の強さゆえ、握ってもロープは流れていき、結果、制動確保となるという始末であった。

最後の自己脱出訓練では、手順自体は身についたも



のであったが、むしろ、コーチ2資格者としての在り方を学ぶことができた。自分ができることと、指導者として人に教えることの違い、つまり、1つ1つの行動にどのような意味があり、なぜ今回はこのような行動を選択するのかをきちんと説明する姿勢を学ぶことができた。今回、各地の山岳連盟の方々との交流を持てたのも楽しく、たいへん有意義な2日間だった。関係者の皆様に、厚く御礼を申し上げる。



第15回ボルダリングジャパンカップ (BJC) 観戦チケット販売のお知らせ

2月8日(土)～9日(日)に開催される第15回BJCの観戦チケットを以下のように発売します。

CLUB JMCSA ITADAKI	12/20(金) 12:00～12/22(日)
各プレイガイド	12/23(月) 12:00～
前売券	2/8(土) 大人2,200円, 高校生以下1,100円
	2/9(日) 大人2,600円, 高校生以下1,300円

美しい島・台湾の最高峰に登頂し、ゆったりと観光も楽しむ

台湾最高峰 玉山(3,952m)登頂 5日間

発着地 東京・大阪・名古屋・福岡

出発日 4/21(火)・5/2(土)・5/19(火)

旅行代金 252,000円～282,000円

※燃油サーチャージ(2019年11月20日現在:目安約6,000円～7,000円)が別途必要です。

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第490号/日本旅行業協会正会員/ボンド保証会員

ALPINE TOUR SERVICE 株式会社

山旅専用フリーコール ☎0120-938-290

e-mail:info@alpine-tour.com http://www.alpine-tour.com

人生を楽しむとは、いつだって逆さまの山に登ることに似ている。ロンドンから、憧れのスコットランドの山へ、家族のためだけに生きてきたイギリス老婦人が、人生の終わりを目前に、はじめて自分のための一歩を踏み出した感動作。

第42回 グリーンランド国際映画祭 国際映画賞 受賞
第13回 バーミンガム国際映画祭 審査員賞 受賞

イー・デー、83歳 はじめての山登り

Never too late

配給:アット エンタテインメント ©2017 Cape Wrath Films Ltd. (G)

1月下旬シネスイッチ銀座ほか 全国順次公開

第58回全日本登山大会（岐阜大会）報告

令和に入って初めての大会となった第58回全日本登山大会岐阜大会は、飛騨山脈を擁する岐阜県高山市・下呂市で、9月28日（土）～30日（月）に開催されました。台風が続き天気を心配しましたが、晴天とはいかないまでも雨に降られず、無事に大会を終えることが出来ました。大会実施に際して、岐阜県・高山市・下呂市など行政関係・地元山小屋・登山用品店・地元企業・地元報道機関・大会運営事業先各位、尾形専務理事様をはじめ日山協事務局の皆様には、格別のご支援とご協力を賜りました。厚く御礼申し上げます。

大会準備は、昨年1月8日の準備会議に始まり、2月24日臨時理事会による開催意思決定のあと、準備の遅れを取り戻すべく継続的に運営会議と実行委員会を重ねてまいりました。昨年6月の京都大会へは11名の役員を視察派遣し、運営について学ばせていただきました。京都府岳連様には、大会中にも拘わらずご指導をいただき、誠に有り難うございました。その後も、度々、時宜を得た示唆をいただき、深く感謝しております。

大会テーマは県岳連会員から募集し、厳選審査の結果、「飛騨には美しい山と癒しの湯がある」と決まりました。文字どおりお国自慢を旨く歌い上げたテーマでした。開会式イベントは飛騨の山岳文化を中心に考え、登山コース設定は企画を募り推薦多数のコースに決定いたしました。昨年の京都大会では京都府岳連様一丸となって、一般市民に全日本登山大会を大いにアピールされ、開会イベントと登山コースに多くの一般市民を動員され、大会の認知、府岳連の認知、登山の認知を働きかけ成功されました。ステージを岐阜に移して検討したとき、山は有るが資金もノウハウもない、登山口への移動も公共交通機関では運営できない。という事情から、全日本登山大会の在り方を検討し、全国会員・



高山市民文化会館での開会式・記念行事の様子

一般市民とも参加しやすく、質素でも心のこもった大会を実施しようということになりました。大会趣旨である登山技術の向上、親睦、地元の自然を楽しみ広く伝えてもらうことは、そのまま大会目的としました。

9月28日、高山市民文化会館での開会式オープニングは高山少年少女合唱団による清らかな山の歌で始まり、ご来賓河合副知事、國島高山市長、服部下呂市長から祝辞をいただいた後、記念講演として今田恵穂高岳山荘代表から「穂高に生きる」と題して、初代から三代目に至る穂高岳山荘の歴史と心意気を語っていただきました。その後、飛騨山岳会ヒマラヤ未踏峰遠征記録映画「ダ・カンリ峰に挑む」と他に「咆える岩稜、穂高の縦走路」を上映し、一同に感動してもらえました。全国会員・一般市民・スタッフ合わせて総勢約530名のイベントとなり盛況でありました。

（会員参加者には、翌日の登山案内後、高山市内ホテルへ徒歩移動してもらいました）

（御嶽飛騨頂上コース参加者には、前泊の都合で映画上映前に会場から濁河高地トレーニングセンターへバス移動、翌朝、同センターから登山出発してもらいました）

9月29日、早朝ホテルから各コースに分かれて登山口までバス移動。会員参加162名、スタッフ129名が日帰り登山を実施。下山後ホテルにて閉会式・交歓会を



御嶽飛騨頂上



閉会式での功労者表彰

行い、有意義な山談義に花を咲かせてもらいました。

【各コースの記録】

乗鞍岳→雨には降られず、かすかな晴れ間が見られた。体調不良の方を除き全員登頂無事下山。

西穂独標→一番心配なコースでしたが、独標登山参加者全員登頂無事下山。眺望はかすか。

福地山→槍穂高の眺望が売りのコースでしたが、ガスに包まれた一日。一瞬槍の穂先が見えたのが救い。全員登頂無事下山。

御嶽飛騨頂上→体力の要るコースで心配しましたが、山屋魂に火がつき体調不良の方を除き全員登頂無事下山。飛騨神岡高校登山部の活躍が光りました。

五色ヶ原→雄大な森、壮大な滝に感動してもらえました。全員無事ゴール。

結びに、格別のご協力を賜りました関係各位、絶大なるご支援をいただきました日山協・都道府県山岳連盟(協会)各位には、深く感謝申し上げます。登山人口が増えつつある中、山岳会員の増加は山岳会との接点の有無に係っていると思います。その接点が人間関係なのか、ネットなのか、イベントなのか分かりませんが、とにかく魅力ある接点でのアピールが必要です。千葉大会以降の全日本登山大会が、そういう接点として機能してゆけるとよいと思っています。

(記 大会運営委員長 塚原孝司)

TMA及びCTAA)、香港、韓国(KAF及びCAC)、中国、JMSCA、日本勤労者山岳連盟、キルギス)で、出席予定だったパキстанは、急遽欠席となった。

UAAAの活動についてC. ペー事務局長(KAF)から発表。現在、インドネシア、トルコ、マレーシアにも、参加を呼び掛けている。また、タイ、バングラデッシュ、フィリピン、シンガポール他からは、UAAA事務局に活動報告が届いているとの報告があった。各山岳協会(連盟)は、その登録会員、活発な活動会員の獲得にしのぎを削っているが、総数としてはやや頭打ちとなっているので、UAAAとしてもより魅力的な協会となるよう、新しいイベントを考えるべきと提案があり、大変前向きな提案に喝さいがあった。

【各会の活動発表と各委員会の報告】

労山、カザフスタン、JMSCA、イラン、モンゴル、キルギスタン、台湾、香港、韓国、中国、ネパールの順で、この1年の活動報告及び2020年の活動計画について、発表があった。

カザフスタンのカズベキ・ヴァリエフ氏からは、遠征計画「CTMAとしての天山(3952m)トレッキング開催」の告知と各国への参加の呼びかけがあった。また、International Trad Climbing Festival-Almaty2019(8月29日~9月4日)UAAA/UIAA/MSCFRK;カザフスタン山岳スポーツクライミング協会共催)の報告が、制作動画で披露された。動画の内容は、UIAAの公式HPにも一部紹介されている。

<https://www.theuiaa.org/uiaa/2019-uiaa-rock-climbing-festival-award-nominee-almaty/>

中国登山協会(CMA)の張志堅氏から、韓国のウルチュ郡で開催される国際山岳映画祭の紹介と、報告があった。今までに、160本という世界中の映画が上映され、来場者は延べ約30,000人に上っています。会場では、同時に世界的な登山家によるレクチャーが行われてきた。(以下参照)。

R. メスナー(2016年)、R. リッジウェー(2017年)、C. ボニントン(2018年)、K. ディムベルガー(2019年)。

2020年は、アジアからのゲストスピーカーを考えているとのアナウンスがあった。



2019UAAA総会報告

日時: 10月13日(日)

会場: Plaza Hotel (Bishkek, Kyrgyzstan)

参加者: 八木原啓明会長、丸誠一郎

【総論と施政方針の確認】

開会前日の12日、午後7時半頃から、Bishkek市内のレストランで、キルギス山岳協会(KAC)のDr. ウラジミール・コミッサールフ会長主催のカジュアルな夕食会に招かれた。初めて参加の小職にとっては、前日のこうした歓迎会は、リラックスした雰囲気の中で極めて有意義な時間となった。

10月13日午前9時半出席者登録、10時より、コミッサールフ会長(KAC)の運営、李仁禎UAAA会長(大韓山岳連盟会長)の開会宣言のもと、総会が始まった。参加国は15か国中10か国15協会・連盟(ウズベキスタン、ネパール、モンゴル、カザフスタン、イラン、台湾(C

ネパール山岳協会(NMA)のプレゼンテーションは、興味深いものがあった。NMAは、上部管轄組織にネパール政府の「文化・観光・民間航空省」を据え、K. バハドール・グルン氏(NMA, ネパール文化・観光・民間航空省)が主な発表を行い、Ms. Mira Acharya 観光局(同省ホテル・登山課書記)も同行し、プレゼンテーションを行った。それによると、2018年の入山件数の記録は、前期比15~20%増で、メンバー総人数2,347名、登山許可総数63登山隊、トレッキング・ピーク申請総隊数296隊、申請費総収入US\$ 4,222,164(出典:ネパール・ツーリズム統計2018)。

NMA 2018年の活動としては、8年ぶりに同協会の組織改正を行った。理事会に常に2名の女性理事を任命し、加えて山での実績あるクライマーを副会長に初選出した。

また、同協会は「ヒマラヤを救おう」のスローガンを更に高く掲げ、エベレスト、カンチェンジュンガ地域まで、その運動を広めることに成功した。自然保護、プラスチック問題、残置廃棄物の搬出、水問題、温暖化対策については、NMAが政府と連携をとり、日本よりその高い意識とアクティブな行動力によって、更なる好結果に結びつけようという、不断の努力を感じました。また、NMAは、本年9月に Amalapsa Pass にアンカーチェーンを設置し、これは理事会メンバーでクライマーの Sanjib Gurung により始動した、安全登山対策の功績との報告があった。

NMAは、UAAAの事務局長の提唱により、国際山

岳博物館(ネパール・ポカラ)との提携活動を開始した。この度、同博物館内のアジア山岳連盟(UAAA)の展示スペースを拡張し、その内容は、UAAAのプロファイル、沿革と歴史、参加メンバー国の紹介、写真等が多く展示されている。「ネパールにお立ち寄りの際は、是非お立ち寄り頂きたい」との呼びかけがあった。

2020年のNMAは、Dr. In J. Leeを「2020ビジットネパール」の親善大使として迎え、カンチェンジュンガの清掃プログラム、ダウラギリ登頂60周年記念事業、カトマンズでの全登頂者サミット、ランタンでの3日間の山岳環境保護会議の実現に向けて、活発な自然保護他に動こうとしているようだ。

UAAAの新年度役員を議論し、多数決で李会長は再選、副会長として、自薦他薦でNMA、CMA、IMSCFが、全員の合議で決定された。併せて、UIAAのMC選を控え、UAAAから立候補するマネージメントコミティ(MC)メンバーの候補者について協議した。Culture Commission Management Memberとして、Hank(台湾)、Christine(韓国)、Mahmood(イラン)、Gurung(ネパール)、丸(日本)が、合議で選出され、次年度への躍進を期待して閉会となった。

次回開催は、2020年6月19日、開催地は東京、ホストは日本勤労者山岳連盟と正式に決定。2020年10月の開催地は、香港、ホストは香港山岳協会、2021年6月はインド登山財団、10月はカトマンズでの開催を確認した。

(記 丸誠一郎)



令和元年度 第7回理事会報告

日時: 令和元年11月14日(木)
14:00~17:05

場所: Japan Sport Olympic Square
3階10号会議室

出席者: 八木原会長、亀山、平山、丸各副会長、尾形専務理事、小野寺、水島、合田各常務理事、相良、蛭田、町田、村岡、村上、水村、山口、前田、六角、唐木、安藤、古賀、山本、古林各理事、中島、古屋各監事

欠席者: 小日向理事

1. 開会

会長挨拶の後、会議成立状況が報告され、理事数23名中22名出席、監事2名同席で会議成立(定款第33条、定足数12名(1/2以上))
続いて議長を選出(定款第32条)し、議事録署名人を指名(定款第34条)して議

事に入った。

2. 議題

議案第1号 第6回理事会議事録の承認について

◆異議なく承認された。

議案第2号 2019年度上期総括及決算報告について

◆一部文言訂正の上、承認された。

監事所見について古屋・中島監事から報告があった。

議案第3号 令和2年度事業計画及び予算編成方針について

◆予算編成方針案は承認され、事業計画方針については別途継続審議になる。

議案第4号 第一次補正予算案について

◆賛成21、保留1で承認された。

議案第5号 印章規程の改定に

◆第7条の削除とそれに伴う以降の条文番号の変更が承認された。

議案第6号 財政再建委員会の設置について

名称は委員会ではなくPT(Project team)が望ましい。世界選手権のみか他の大会も含めるかなどの意見が出たが、次回の理事会に規程、メンバー構成、権

限等の具体的な機能を提案してもらうことになった。

議案第7号 後援依頼について

山口県山岳・SC連盟創立70周年記念講演会の後援申請

◆全員一致で承認された。

議案第8号 理事の大会等謝金について

JSCの指導により提案が諮られたが、意図がはっきりせず、再度確認上、再提案することになった。

3. 報告

報告第1号 10月度月次会計報告について
資料に基づいて報告があった。

報告第2号 東京2020オリンピック代表選手の選考について

最近の状況について報告があった。

報告第3号 LWC印西2019報告について
資料に基づいて報告があった。

報告第4号 全国理事長会議について
今年度は理事も出席することで了承を得た。

報告第5号 業務執行理事の職務執行報告
各業務執行理事が報告を行った。

報告第6号 後援依頼について

①広島山岳・SC連盟「第28回比婆山国際

スカイライン大会」

②国交省「令和元年度雪崩防災週間」
上記2件は、例年通り承認にしたいとの報告があった。
報告第7号 山岳共済会令和元年度上期事業及び会計報告
山岳共済会から資料に基づいて報告があった。
古屋監事から監査所見の報告があった。

4. 専門委員会議事録報告(抄録)

4-1. 指導委員会

10月7日(月) 出席10名、委任4名
ア) 検討事項
(1) 登攀研修会(大阪)(10月26, 27日)
受講者: 研修6名、A級主任3名、B級主任3名、コーチII 5名
(2) スポーツクライミング主任検定員養成講習会
①東京地区
12/14 昭島市スポーツセンター
②近畿地区
11/9 9:30集合 神戸登山研修所
(3) 夏山リーダー講師養成講習会
①石川県山協から講習会の運営援助依頼があり(10/13)
②近畿地区講師養成講習会(11/17)
③夏山リーダー講師養成講習会(3/14-15) 神奈川県立山岳スポーツセンター
(4) パワポ作成の分担について
(5) 指導者養成をACとSCに分かれる件について

4-2. 遭対委員会

10月30日(水) 出席7名、スカイプ7名
ア) 山岳遭難対策中央協議会幹事会報告(10/25(金)スポーツ庁)
①「2019山岳遭難セーフティーカード冬山版」について
11月中に配布の予定。
②全国山岳遭難対策協議会の発表内容について
来年度のカリキュラムについて国立登山研修所で検討する。
③山岳遭難防止活動について
「ストップ・ザ1000」山岳遭難防止活動として、啓発ビデオ「そうよ そうなの遭難よ」アニメ版についてJMSCAより説明を行った。

4-3. 登山医科学委員会

10月26日(土) 出席7名、欠席2名
ア) インターハイ支援事業
①宮崎インターハイ救護活動について報告。救護スタッフとして医師4名、看護師3名が参加し、8/3~5の登山活動に帯同した。傷病者は3日間で30名(男6名、女24名)。傷病名は鼻出血5名、腹痛4名、嘔気3名、他。その内、高千穂病院へは10名紹介した。
イ) UIAA Medical Commission
①11/7-8、Bolzano (Italy) で開催 Full Memberの増山委員が出席予定。
②次期Full Memberに上小牧委員が推薦され、11月のUIAA Medical Commissionで立候補する予定となった。
ウ) 夏山リーダー講習会における支援講習会の「セルフレスキュー」を医科学委員会が担当することになった。
①テキスト内容について
既存のテキスト内容について変更・追加の必要がある場合は、11月末までに委員長に連絡。
②実技内容について
外傷応急処置を中心とする。講師は医科学委員会委員を想定し、日本各地で開催される講習会に対応できるようにする。講習内容を標準化するためのマニュアルを作成する。マニュアル作成の研修会を開催する(1/18、10:00~17:00)

4-4. 国際委員会

10月15日(水) 出席7名、欠席6名
ア) 報告事項
①第6回海外登山懇談会「大学山岳部の海外登山」の準備状況について
・信州大山岳部に依頼(江川信・中嶋渉両氏)。チャラクサ(パキスタン) 報告
・早稲田大学山岳部(ラジョダダ峰登山隊) に打診中。
②Scottish International Winter Climbing Meet-2020について
今回は見送りとする。
イ) 協議事項
①国際委員会名称の変更について
「国際・アルパインクライミング委員会」に決めた
②HPの最終チェックについて
③海外登山懇談会について

・役割分担
・資料作成
・講師宿泊の手配

5. 会務・役員派遣等

(10月11日~11月14日)
(1) UAAA総会
10月11日(金)~15日(火) 於: キルギス 八木原会長、丸副会長
(2) 雪崩防災週間実行委員会
10月15日(火) 於: 中央合同庁舎3号館(国土交通省) 尾形専務理事
(3) CMA李豪杰夫妻歓迎会食会
10月17日(水) 於: 西安飯店 八木原会長、尾形専務理事、小野寺常務理事
(4) ネパール大使館レセプション
10月21日(日) 於: ホテルオークラ 神崎顧問 小野寺常務理事
(5) 国立登山研修所「登山研修」編集委員会
10月25日(金) 於: JSC 尾形専務理事
(6) 上期監査前決算確認
10月25日(金)及28日(月) 於: 事務局内 尾形専務理事、相良理事、中島監事、小野寺常務理事
(7) 登攀技術研修会(A級主任検定員・上級指導員養成講習会) 10月26日(土)~27日(日) 於: 神戸登山研修所 蛭田理事
(8) IFSCLリードワールドカップ印西大会
10月26日(土)~27日(日) 於: 千葉県印西市・松山下公園総合体育館 八木原会長他
(9) 業務会計監査
10月30日(水) 於: 事務局内 尾形専務理事、相良理事、中島監事、古屋監事、小野寺常務理事
(10) TOC/IFSCテストイベント協議
10月31日(木) 於: トリトンスクエアY棟 平山副会長、尾形専務理事
(11) 国際展開基盤形成事業(IF等役員ポスト獲得支援) 情報共有会議
10月31日(木) 於: JOSビル13階JOC会議室 尾形専務理事
(12) UIAA総会 10月30日(水)夜~11月6日(水) 於: キプロス 丸副会長 小野寺常務理事
(13) 東京2020オリンピック代表選手選考に関わる記者会見 11月1日(金) 於: J

寄贈図書

寄贈本	くもん出版	「星くずクライミング」
雑誌	(株) ネイチュアエンタープライズ	「岳人」No.870 12号
	(株) 山と溪谷社	「山と溪谷」2019年12月号 No.1016
広報誌	(公財) 日本スポーツ協会	「Sport Japan」Vol.46
	(公財) 日本スポーツ協会	「JSPOスポーツニュース JSPOフェアプレイ」Vol.112
会報	(公財) 埼玉県体育協会	スポーツ埼玉 Sports Vol.286
	中華民国山岳協會	「中華山岳」《雙月刊》273
	(株) 日本運動具新報社	スポーツ産業新報 第2270号、第22271号、第22272号
	兵庫県山岳連盟	「兵庫山岳」第629号
	埼玉県山岳・SC協会	「埼玉岳連」第66号
	(公財) 健康・体力づくり事業財団	「健康づくり」No499
	日本トレーニング指導者協会	「JATI EXPRESS」Vol.73
	La rivista del Club alpino italiano	「Montagne 360」 novembre 2019
	(公社) 日本武術太極拳連盟	「武術太極拳」11月 No362
	(一社) 大阪府山岳連盟	「山岳 おおさか」No222 2019年秋号
日本勤労者山岳連盟	「登山時報」No.538	
(公社) 日本山岳会	「山」11月号 No894	
東京野歩路会	「山嶺」VOL.97 No1077	

想像をはるかに超える"保温力"
超肌着力

SOS3階会議室1 合田常務理事、
安井強化委員長

(14)令和元年度自然保護委員総会

11月9日(土)～10日(日) 於：石巻市三陸
復興国立公園「金華山」
安藤理事、松隈委員長

(15)天皇陛下御即位奉祝国民祭典

11月9日(土) 於：皇居前広場祝賀式典
特設会場 八木原会長

(16)白馬山案内人組合創立100周年記念式
典・祝賀会 11月10日(日) 於：白馬東
急ホテル 八木原会長

(17)R2年スポーツ振興助成募集説明会

11月11日(月) 於：日本青年館8Fカ
ンファレンスルーム・イエロー
小野寺常務理事

表紙のことば

世界第3位の高峰、カンチェンジュンガ(8,586m)に本格的な登山隊として最初に挑んだのは、1929年秋、P.パウアーの率いるドイツ・ババリヤ隊だ。ゼム氷河から北東支稜に壮絶な死闘を展開したが、悪天候のため7,000mラインで断念となった。

P.パウアー隊は、1931年に再挑戦するも7,750mで涙を呑む。

写真は、その北東支稜である。右にアッパー・ゼム氷河、左にトゥインズ氷河が横たわり、その先でゼム氷河となる。背後の尖峰はシニオルチュー(6,887m)。

(写真撮影者 尾形好雄)

編集後記

2019年は元号が平成から令和へ「即位の礼」の様々な儀式が行われた。又、多事多難の年でもあり九州北部豪雨、記録的な台風風15号、甚大な水害の19号など気象災害、マグニチュード6クラスの地震が各地で多発。被災された方々にはお見舞い申し上げます。新役員・スタッフでスタートした協会事業は、世界選手権(8月八王子)を成功裡に終えたが重い負担と事業展開として今後に大きな課題を残した。減遭難「ストップ・ザ1000」キャンペーンの「夏山リーダー養成講習会」、「そうよ そうなの 遭難よ」PRアニメも広報活動が未熟で展開が課題だ。令和2年まずはオリンピック、そして創立60周年記念事業など岳連(協会)の協力で盤石な体制を願う。(広報担当 水島彰治)

一般財団法人 日本トレイルランニング協会

〒141-0031
品川区西五反田6-3-23-205
☎03-3492-0355 FAX 03-6451-3767

NPO法人 北丹沢山岳センター
神奈川県・山梨県東部トレイルラン連絡協議会

事務局 〒252-0184 神奈川県相模原市緑区小淵1545-1
TEL 042-687-4011 FAX 042-687-3980
E-MAIL kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp

- 北丹沢12時間山岳耐久レース実行委員会
- 陣馬山トレイルレース実行委員会
- 道志村トレイルレース実行委員会
- 八重山トレイルレース実行委員会
- 東丹沢宮ヶ瀬トレイルレース実行委員会
- 上野原秋山トレイルレース実行委員会

大会々長 杉本憲昭

登山月報 第609号

定価 110円(送料別)
予約年間 1,300円(送料共)
昭和45年12月12日
第三種郵便物認可
(毎月1回15日発行)

発行日 令和元年12月15日
発行者 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
Japan Sport Olympic Square 807
公益社団法人
日本山岳・スポーツクライミング協会

電話 03-5843-1631
FAX 03-5843-1635

山岳
雑誌

岳人

がくじん

山と人、時代をつなぐ「岳人」

1月号 発売中

【特集】ふるさとの富士

★モンベルのウェブサイト
全国のモンベルストアや書店にて発売中!

毎月15日発売 価格880円(+税)

年間購読がおすすりめです。

購読割引 送料無料 Tシャツセット

年間購読なら、お得な価格で毎月お手元に冊子が届きます。

通常価格 12冊
~~10,560円~~ (税別)
11,616円(税込)

年間購読 12冊 + Tシャツ

→ 9,680円 (税別)

10,648円(税込)

岳人年間購読 + 岳人Tシャツセット 期間限定キャンペーン

岳人の年間購読を【新規お申し込み】または【ご継続】いただくと、「岳人Tシャツ」クーポンをセットでお届け。

キャンペーン期間(お申し込み日)
2019年10/15日～2020年10/14日
(2019年12月号から2020年11月号までの年間購読開始が対象となります)

※購読開始号に同封されているクーポンを全国のモンベルストア店頭でTシャツと交換させていただきます。ご来店いただけないお客さまには発送も可能です。

年間購読のお申し込みはこちらから! >>>

<https://www.gakujin.jp/>

全国の
モンベルストア
でも受付中!

お問い合わせ
モンベルポスト

☎ 0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

あなたを守る。
あしたを作る。

三井住友海上

損害保険と聞いて、
なにを思い浮かべますか？

ケガ、災害、事故…日々の中で起こりうるリスクをカバーする。それは私たち三井住友海上の重要な任務ですが、すべてではありません。たとえば同じ自動車保険でも、暮らしの変化や自動車の進化を見つめて改善を続けること、宇宙開発や再生医療など、まだ世界にない保険を新しく作ることで社会の前進をサポートすることも、とても大切な役割です。変わらない一日に寄り添い、より豊かな明日を実現したい。だから私たちは、守ることと作ること、その両方を探りながら前へ歩み続けます。

三井住友海上
時空保険
探査部
Space-time Insurance
Exploration Department

人類にとっての
損害保険の
必要性を調査。

時空を感じる
ゲート。

社員証を
かざせば
タイムワープ。

立ちどめを乗り越えよう。

MS&AD

三井住友海上



登山者のマナー 山岳保険

あなたのは山岳保険ですか？

- 傷害死亡・後遺障害
- 遭難捜索費用
- 救援者費用
- 傷害入院費用
- 傷害通院費用
- 傷害手術費用
- 個人賠償責任

日山協 山岳共済会 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-7-11-707

TEL 03-5958-3396 FAX 03-5958-3397

E-mail sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日除く)

携帯からも資料請求ができます。
<https://sangakukyousai.com>



WEBからもお申込みいただけます